

ハノイ 2016.01.02 ~ 2016.01.12

■ 2016.01.02 出国前夜 ■

20:40 発、JAL の最終便で羽田。ホテルの送迎バスで東横イン羽田第二へ。向かいのセブンイレブンでおつまみとお酒を調達し、寝酒にする。

■ 2016.01.02 ハノイへ ■

チェックアウトギリギリの 10 時までホテルで過ごす。出国フライトは夕方 16:30。それまでどうやって過ごそうか。隣接の京急大鳥居駅乗車、品川乗り換えで秋葉原。

まずは、iPhone6s plus 用手帳型ケースを購入。2980 円。

次に、ギャラクシーノート II 用 HDMI アダプタを購入。スマホ画面を TV などに出力できる奴。2650 円。アップル TV や iPhone 用アダプタは、次回だな。

秋葉原から歩いて御徒町。京成上野駅から成田空港第 2 ビル。ラウンジで時間を潰す。

航空券の座席チケットを取りに行くエスカレーターで、さまあーずの三村さんとすれ違った。家族でハワイにでも行くのかな？

回転寿しで夕食。しばらく和食とお別れだ。18:30 JAL でハノイ（ベトナム）に向け旅立つ。



【ノイバイ国際空港近くのスプレンドラ・ホテル】

■ 2016.01.03 空港から市内へ ■

昨夜は、ホテルの無料送迎車が迎えに来てくれた。疲れてはいたが、シャワーを浴び、ウイスキーを飲んだ。なかなか眠れなかったが、明け方にぐっすり。疲れもとれた。空港まで 15 分歩く。

空港からの路線バスを探すが、来るのは 7 番バスのみ。市内行きの 17 番バスは第 2 ターミナルを通らないことに気付く。ターミナル 1 まで、無料シャトルに乗車。17 番バスをなんとか発見、乗車。

終点のロンビエン・バスターミナルまで 9000 ドン（48 円）ベトナム歌謡曲を大音量で流し続けるのには閉口した。

ターミナルからホテルまでゆっくり歩く。道はわかりやすいが交通量がやたらに多く、慣れないと不安になる。毎度のことだが、目指すホテルがなかなか見つからず、右往左往。（ー；）

夕方、近くの食堂で食事。ご覧のフライドライスとビールで 65000 ドン（345 円） 安い！！



【ロンビエン・バスターミナル】



【ホテル】



【炒飯&麦酒】

■ 2016.01.04 ホアンキエム湖周辺観光 ■

宿泊しているホテルは、旧市街、大教会のすぐそば。

ロケーションが非常に良く、主な観光スポットには、徒歩で行ける。 ということで、ハノイ観光の手始めは、ホアンキエム湖周辺。玉山寺、オペラハウス、歴史博物館などなど。夕食は庶民的な食堂で。ご覧の内容で38000ドン（202円）。(^ω^)



【ホアンキエム湖】



【玉山寺】



【玉山寺】



【オペラハウス】



【大衆食堂は安くて旨い】



■ 2016.01.05 西湖はどこじゃ ■

ハノイの街歩きの危険にも、ようやく慣れてきた。道路の横断は、バイクや車に睨みをきかせながら、ゆーっくりと歩くのがコツですな。

今日は旧市街の北西にある西湖を目指し、歩き始めた。

しばらく歩くと、写真の「兵士と女性のモニュメント」があり、記念写真を撮る。

湖まではもう少しの場所。ここから少し歩いた交差点で、地図を取り出そうとして気付いた。地図がない…。 あんりまあ、失くしちゃったあ…。(ー;) 地図なしで続行を試みるも、やはりダメ。あのモニュメントの場所にもどっちゃったあ。

諦めてホテルに帰ろうとしたが、もう2回同じモニュメントを見ちゃったい。(ー;)

へろへろになってホテルに戻る。気をとり直して夕食。

ベトナムといえば、やはりフォーでしょう。一杯4万ドン（211円）。

安いのに慣れたせい、思いの外安価な感じはしませんでした。



【兵士と女性のモニュメント】



【ベトナム国民食フォー】



【日本番組も見られます】

■ 2016.01.06 見つけた ■

昨日の失敗は二度と繰り返すまい！ホテルのフロントで再び市内マップをいただきいざ出陣。さすがに今回は、迷わずに西湖まで辿り着くことができた。

写真の2枚は、ベトナム最古の寺「鎮国寺」。李南帝（544～548年）時代の建立とのこと。ホーチミン廟など、ハノイ市内の主な観光名所は、今日でほぼ見学を終えることができた。

旅番組などでよく紹介される「列車が民家の間をギリギリで通過する」という、有名な場所も見つけた！



【西湖】



【ベトナム最古、鎮国寺】



【鎮国寺内部】



【ホーチミン廟】



【有名観光スポット】



【サイゴン麦酒も旨い】

■ 2016.01.07 バイチャイで大失態！ ■

ハノイに来たからには、有名な世界遺産ハロン湾を訪れない訳にはいけない。

ルオンイエン・バスターミナルからバスに乗る。

バイチャイ・バスターミナルまで約 140 キロ。9 万ドン。所要 4 時間半。

バスには 8 時 15 分頃乗車したが、なかなか出発しない。やっと出発したかと思うと、ハノイ市内のいろんな場所を廻り、客を拾っていく。

いったいいつ着くのかと思ひながら、たまーに道路標識をみると、「ハロン 78 キロ」とか「38 キロ」とかの表示を発見。

4 時間半を過ぎた頃、どこかの広場のようなところをぐるっと回ってバスが一度止まった。

その後、間もなく海が見えた。それからバスは、大きな橋を渡る。

「これって、バイチャイ橋じゃないか？ やれやれ、もうすぐ着くなあ…」

などと考えていたが、なかなかバスターミナルに着かない。

それから 30 分近く走ったところで、バスの車掌が私に「バイチャイ？」と聞いて、そうだと答えると、バスを止めて降ろしてくれた。

ここがバイチャイ・バスターミナルなのかと聞いたら、そうだというので降りた。

バスターミナルからホテル街まで 3.5 キロくらいなので、地図を見ながらゆっくりと歩く。

1 時間もかからずに着くはずだ。あれっ？ 変だなあ… 40 分くらい歩いても、目印になる通りの名前や建物が無いことに気付いた。

仕方なく、通りの店で道を聞くが、英語がまったく通じない。バスを降りた地点まで引き返すことにした。そこで、道を聞いて驚いた。やっと英語が通じたので「バイチャイ・バスターミナルに行きたい」と言ったら〇〇キロ戻れという。

ノートに書いてもらおうと、なんと、30 キロ！！ ここで、やっとわかった！

バスの車掌め、バイチャイ・バスターミナルで降ろすのを忘れ、30 キロ先で降ろしてごまかしたのだと…。(勿論、気付かない私が悪いんですが…)

そうとわかれば対策はひとつ。バイチャイ行きのバスを捕まえばよい。

路線バスの停留所らしきところでバスを待ち、通りかかったバスに片っ端から声をかけた。

運良く、15 分ほどでバイチャイ行きのバスに乗ることができた。バスは夕方のため混んでいたが、20 分ほどで座席に座ることができ、スマホを見る余裕もできた。

偶然の産物だが、スマホがネットに繋がってなくても、グーグル・マップのナビ機能で自分の通っている道路や位置が分かることを、このとき初めて知った。

バイチャイ橋でバスを降り、バイクタクシーでホテルへ。良い経験をした。(^^;)



【バイチャイ橋】



【此処はどこ？】



【苦勞した後の味は格別】

■ 2016.01.08 ハロン湾クルーズ ■

さて、今日はいよいよハロン湾クルーズだ。今回の旅のハイライトだあ！。

クルーズ船の発着所は、ホテルから1キロぐらいの場所にあった。

「ハロン湾クルーズ4時間コース」で係のおじさんが提示した額は30ドル。

あれっ？ 18万ドンじゃあなかったの？ あれれ？

おじさんが言うには、17万ドンは洞窟の見学料、ボート代その他で30ドルだと。

ちゃんとした施設の窓口で提示された額なので、ぼられているわけではないことは分かった。

ハノイからの日帰りツアーで25ドルから28ぐらいが相場と聞いていたのになあ。

しょうがない、まあいいか。ということで支払い。するとすぐに乗船できるという。

バイクの後ろに乗って出発。近いのに、親切だなあと思って乗っていると、ずんずん先に行くではあーりませんか。

4～5キロも走った先の別の乗船所（トアンチャウ島）に連れて行かれたみたい。

あらら、帰りはどうなるんだあ、このお兄ちゃん、4時間後に迎えに来てくれるわけないよなあ…。と心配しつつも、すぐにクルーズ船に乗って。いざ出発！！

ハロン湾について、ウキペディアには次のように書かれている。

彫刻作品のような島々の景観は、太陽の位置によって輝きが変化し、雨や霧によってまた趣のある雰囲気醸し出す。地質学的には北は桂林から、南はニンビンまでの広大な石灰岩台地の一角である。石灰岩台地が沈降し、侵食作用が進んで、現在の姿となった。1994年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録。ユネスコが支援するフランスのNGO世界で最も美しい湾クラブにも加盟している。



【鍾乳洞】



【小舟で島巡り】



【奇岩の間を進む船】



【水上家屋】



【観光船】



【鬪鷄岩】

奇岩を眺めながら船は進む。4時間クルーズで廻るのは、鍾乳洞（ティエクン洞）、香呂島、

水上家屋、養魚場など。小舟に乗り換え島巡りをするオプション（12万ドン）は、少し高いが、それだけの価値はあると思った。

それにしても船内で飲んだ缶ビール（ビア・ハノイ）が1本5万ドンと言われたのには、目玉飛び出た。（5倍も取るか…。船上ぼったくりバーだな）

■ 2016.01.09 ハノイに戻る ■

バイチャイで2泊した「サイゴン・ハロン・ホテル」は、バスタブがあって嬉しかった。

日本人はやはりシャワーでは物足りません。湯船がないとね。

ホテル最上階（14階）のレストランで豪華バイキング朝食を堪能。ベトナム料理と、西洋料理の混合メニューだが、美味しい。ベトナム料理は、他の東南アジアの国々とは違い、辛くも、変なクセもないので、日本人には合っていると思う。

ホテル前のバス停から路線バスに乗り、バイチャイ・バスターミナルへ。

ああ、ここ来たことあるな。橋を渡る前に、ぐるっと回ってすぐに出て行った広場じゃないの…。(^_^;) ハノイのルオンイエン・バスターミナルまで9万ドン。

帰りのバスでは、グーグルマップのナビ機能のおかげで、自分が通っている道も現在地も、しっかり把握できました。今回の体験で身についた技術は、今後もものすんごく役立つことであらましよう。（*_^*）



【サイゴン・ハロン・ホテル】



【朝食】

ハノイ最後の1泊は4泊したスプレンドラ・ホテルのすぐ近くだった。

200円高いだけ（1泊3800円）で、同等の綺麗さ、サービスで、バスタブ付き。



【清潔でお洒落な部屋】



【ありがたいバスタブ】



【ホテル前ストリート】

■ 2016.01.11 JL752 便欠航 ■

油圧トラブルのため、11日00:25発の帰国便が欠航になってしまった。

機内で4時間待機させられたのち、ハノイ市内に戻って、現在、航空会社手配のホテル（4星）に待機中。2時間ほど眠ったろうか？ どの飛行機で、いつ帰ることができるか、今は不明。

えーん（;_;）。



【4星ホテル Fortuna】



【僕はやっぱり大衆食堂】



【何はどもあれビール】

■ 2016.01.11 今後の日程 ■

先ほど、ようやく連絡がありました。明日、12日 02:30(日本時間 04:30) ノイバイ国際空港発。09:15 成田着。実に、26時間の遅延であります。あと13時間後、無事出発出来るでしょうか？それまで、ホテルで過ごします。三食付きで、空港までのバスも無料だから、喜ぶべきなんでしょうね。



【三食付き】



【ホテルロビー】

■ 2016.01.12 帰国&帰郷できました ■

空港に向かうバスのホテル出発は11時。

さすがに今更ハノイ市内観光をする気も起きず、ホテルで過ごす決心をする。

バスタブにお湯をはり、何度も入浴。ぼーっと過ごす。

朝食バイキングのほか、昼食20ドル、夕食30ドルまで使っていいとのこと。

(さすが日本航空、気前がいいぞ！！)

通常一日二食のいさちゃん、三食目はさすがに厳しく、お酒3杯で元をとる。(^^;)

空港チェックインの際、秋田への乗り継ぎ便を確保。同じ航空会社でよかったあ。

しかしながら帰国便搭乗時刻になって、また30分待たされたのには、少々むっとした。

それでも、日本到着はほぼ定刻。成田→日暮里→品川→羽田。一番安いコース1640円。

カード会社の空港ラウンジで2時間半過ごす。JAL165 羽田13:15→秋田14:25

悪天候のため少々遅れたが、14:40頃到着。自宅到着は15:40過ぎ。

ご心配をおかけしましたが無事帰ることが出来ました。ありがとうございます。(*^_^*)